

オペレーションズ： 事業計画連動型サプライチェーンプランニング

事業計画達成に向けたオペレーティングモデルの高度化



オペレーティングモデルの高度化に向けて

近年、企業を取り巻く環境の変化が著しく、サプライチェーンが急速に多様化・複雑化しています。このような環境下で企業は業績着地の見通しを求められており、S&OPやIBPといった事業計画とサプライチェーンを連動させた調整が必要となってきています。

課題①：事業計画と需給計画の分断

- 多くの企業でサプライチェーンは、数量ベースの需給計画に基づいて実施されていますが、金額ベースの事業計画と同期をとる必要があります。
- また、需給計画は短期間の立案となっており、中長期的な視点での需給判断ができていない状況です。



課題②：サプライチェーンへの影響因子の増加

- 現代のサプライチェーンは、企業の内部要因だけでなく、政治的要因、地理的要因、市況変化などの外部要因によって、将来の予測が困難になっています。
- また、従来の人的予測では各工程で人の意思が入ることにより、市場の動向とのズレが生じています。

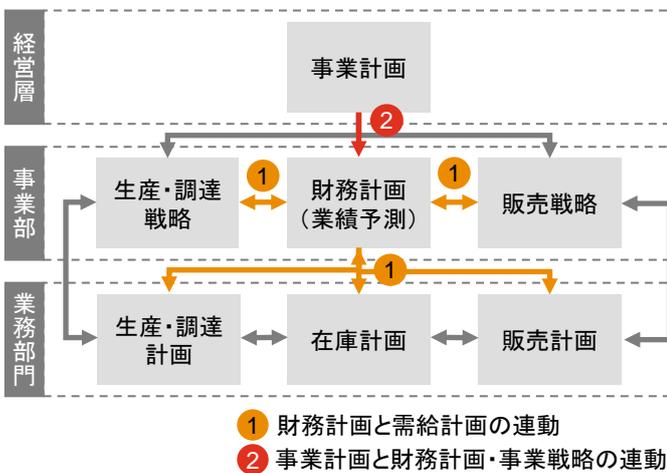


事業計画連動型サプライチェーンプランニングのアプローチ

- 需給調整で使用される需給計画と事業計画を同期させることで、事業計画達成のためのオペレーションの変革を実現します。
- 外部データを活用して変化の予兆をとらえ、シナリオプランニングに基づいたシミュレーションを通じてリスクへの備えを強化します。

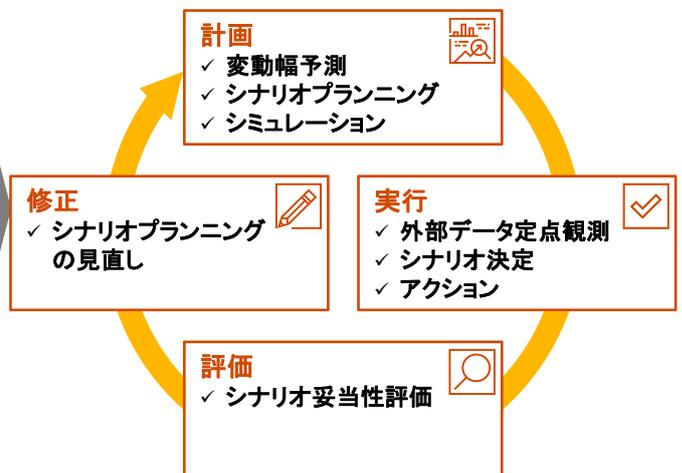
事業計画と需給計画の統合

- 事業計画と販売・生産・調達といった需給計画を一体化させることで、事業計画の進捗を可視化します。
- 経営層と業務部門が同一の計画を共有することで、財務視点を加えた迅速な判断とアクションが可能となり、売上や利益の最大化を実現します。



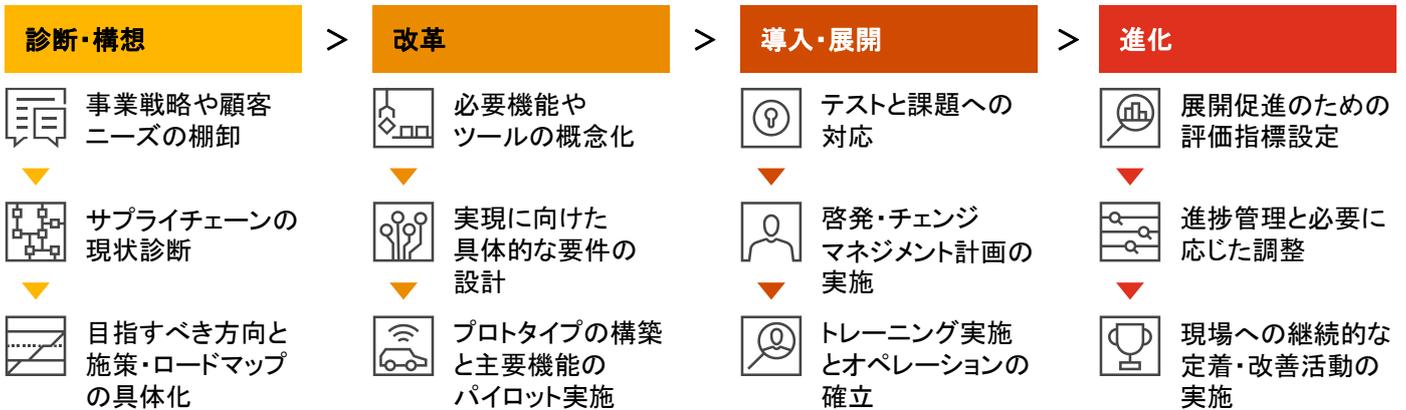
外部データを活用したシナリオプランニング

- 外部データを活用した予測とシナリオプランニングにより、客観的事実に基づいた販売計画の立案を可能にします。
- さらに、外部データの定点観測から変化の予兆を事前に検知することで、最適なアクションの実行が可能となり、サプライチェーンのレジリエンス向上につながります。



PwCコンサルティング合同会社の支援概要

- PwCコンサルティング合同会社では、計画の可視化とシナリオプランニングをサポートするテンプレートを用いることにより、実現可能なオペレーティングモデルを早期に確定させることが可能です。
- 当サービス領域において企画構想から実行まで、業種・業態を問わず豊富なプロジェクト実績を有しています。どこから実行に着手すべきか具体的なイメージをお持ちでない場合でも、当社が保有する事例とさまざまな業界知見を活用した支援が可能です。



事業計画連動型サプライチェーンプランニングの概要

- 当社が導入支援を行うソリューションの1つとして、BIツールを活用したテンプレートを保有しています。
- 販売・生産・調達計画のデータを一元化し、各計画が変動した際の他計画への影響や、財務計画との乖離をリアルタイムに把握することができます。外部データの活用による予測機能の追加など、当社が提供する他のソリューションと組み合わせることで、より高度なオペレーティングモデルを確立することも可能です。



お問い合わせ

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー

TEL : 03-6257-0700(代表)

www.pwc.com/jp/consulting

PwCコンサルティング合同会社のご紹介

PwCコンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwCグローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japanグループ

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社(PwCコンサルティング合同会社を含む)の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。